

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 50(m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの種類	風化			
05				25YR 7/3 Rbの 割れ目	✓	✓	✓	✓	✓	5	
	50.78	X			X	X	X	X			
51			Gp	25YR 4/2 Rbの 割れ目	✓	✓	✓	✓	✓	6	CL
	51.06	X			X	X	X	X			
05				25YR 4/2 Rbの 割れ目	✓	✓	✓	✓	✓	5	
	51.24	X			X	X	X	X			
52				25YR 4/2 Rbの 割れ目	✓	✓	✓	✓	✓	5	
	51.94	X			X	X	X	X			
05				25YR 4/2 Rbの 割れ目	✓	✓	✓	✓	✓	3	D
	52.72	X			X	X	X	X			
53				25YR 4/2 Rbの 割れ目	✓	✓	✓	✓	✓	2	H1 Hc-2
	52.81	X			X	X	X	X			
05				25YR 4/2 Rbの 割れ目	✓	✓	✓	✓	✓	3	H1 Hc-2
	53.17	X			X	X	X	X			
05				25YR 4/2 Rbの 割れ目	✓	✓	✓	✓	✓	3	H1 Hc-2
	53.45	X			X	X	X	X			
54				25YR 4/2 Rbの 割れ目	✓	✓	✓	✓	✓	4	H1 Hc-2
	53.54	X			X	X	X	X			
05				25YR 7/3 Rbの 割れ目	✓	✓	✓	✓	✓	3	CL
	53.84	X			X	X	X	X			

49.27 ~ 49.40 = D
20%前後の割れ目が多。割れ目は10%。砂粒は。造石

49.40 ~ 51.94 m = CL
硬土「C」の。割れ目。一部に「D」の。含まれる。
30°前後の割れ目が主体で、一部に20°に造石。砂粒の
60°前後の割れ目も分布
51.06 m 硬土「C」の。風化と変質は軽微。硬土「D」の。造石
分布は少ない。

51.06 ~ 51.94 m 割れ目。造石。一部に中層割れ目。
造石。中層割れ目は造石。10%。

51.24 ~ 51.62 m 割れ目。造石。10%。分布。10%。
造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。
造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

51.62 m。15°割れ目。厚さ10%。造石。

51.94 ~ 52.72 m = D
造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

52.16 m。23°厚さ30%の。造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

52.32 ~ 52.50 m 造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

52.72 ~ 52.81 m = H1
Hc-2
52.72 ~ 52.81 m = H1
造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

52.81 ~ 52.90 m = H1
Hc-2
14°。中層割れ目は。10%。分布。10%。

52.90 ~ 52.91 m = H1
Hc-2
造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

52.91 ~ 53.17 m = D
造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

53.17 ~ 53.22 m = H1
Hc-2
造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

53.22 ~ 53.45 m = CL
造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

53.45 ~ 53.54 m = D
造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

53.54 ~ 54.00 m = CL
造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

54.00 ~ 54.60 m 造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

54.60 ~ 54.87 m 造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

54.87 ~ 54.90 m 造石。中層割れ目は。10%。分布。10%。

標尺 55 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

55	55.35		Gp	2.5HR 7/3 150in 樫	✓	✓	✓	3			<ul style="list-style-type: none"> 55.35m, 55.40m のコアで直線的な割れ目と硬さ (55.35m ~ 56.66m は硬さ) の硬質と判る。 55.40m 割れ目の一部には硬さの砂化と判る。粘り強さと判る。
	55.44				✓	✓	✓				
56	56.08		Gp	2.5HR 7/3 150in 樫	✓	✓	✓	6	7		<ul style="list-style-type: none"> 56.43 ~ 56.47m, 56.40m 割れ目の硬さ、硬さの硬質と判る。
	56.66				✓	✓	✓				
57	56.84		Gp	2.5HR 7/3 150in 樫	✓	✓	✓	6	5		<ul style="list-style-type: none"> 56.66 ~ 56.84m : D 硬さの硬質、硬さの硬質と判る。中 10 ~ 20% の硬さの硬質と判る。 56.84 ~ 56.97m : C_L 56.84 ~ 56.90m, 硬さの硬質と判る。一部は硬さの硬質と判る。 56.90 ~ 57.30m 硬さの硬質と判る。一部は硬さの硬質と判る。
	56.84				✓	✓	✓				
58	58.90		Gp	2.5HR 7/3 150in 樫	✓	✓	✓	6	6		<ul style="list-style-type: none"> 57.35 ~ 57.90m は 27 度 - 28 度時に硬さの硬質と判る。 57.90 ~ 58.34m, 硬さの硬質と判る。一部は硬さの硬質と判る。 58.28m 割れ目全部同じ硬さの硬質と判る。 58.34 ~ 58.77m, 硬さの硬質と判る。一部は硬さの硬質と判る。一部は硬さの硬質と判る。一部は硬さの硬質と判る。
	58.34				✓	✓	✓				
59	58.77		Gp	2.5HR 7/3 150in 樫	✓	✓	✓	6	5		<ul style="list-style-type: none"> 58.77 ~ 59.02m : D 硬さの硬質 (硬さの硬質) と判る。硬さの硬質と判る。 硬さの硬質と判る。一部は硬さの硬質と判る。一部は硬さの硬質と判る。 59.02m, 20% の硬さの硬質と判る。硬さの硬質と判る。 59.20 ~ 59.48m 硬さの硬質と判る。一部は硬さの硬質と判る。
	59.28				✓	✓	✓				
60	59.48		Gp	2.5HR 7/3 150in 樫	✓	✓	✓	4	1		<ul style="list-style-type: none"> 59.60 ~ 59.65m 間は 3 本の 180 度平均割れ目 5' ~ 55' 割れ目と判る。硬さの硬質と判る (0.5 ~ 1%) の硬質と判る。
	59.82				✓	✓	✓				
	59.85				✓	✓	✓	4	1		<ul style="list-style-type: none"> 59.82 ~ 59.85m : 硬さの硬質 (主に硬さの硬質) D-1 59.82 ~ 59.85m : H₂

7/15/95
57
5
50

調査名

孔番・深度

H27 B- / (60 ~ 65)

観察日

1/5/76

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 60 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化 変質			
	05	60.54			c	✓	δ	3		C ₂ ✓	<p>上端20°部不規則の液状で、下層20°部連続的に連続。 92~5%石英粒、5~10%粘土化岩片と各層間の粘土化 L₁粘土状の岩片と呈す。色調は不規則(ASFR 6%) 厚さ30mm</p> <p>59.05m: Hc-1 60°部連続的に連続。9~10%石英粒と岩片に (5%以下)含む軟弱な粘土(0%以下)。色調は圧縮(ASFR 6%) ~1/26色(ASFR 6%)の粘土状の岩片と呈す。厚さ5~7mm</p> <p>59.05~60.99m: C₂ 60.54m部は割れ目により風化・変質。硬さE₁を含む 2m。 60.54m以下は硬質の岩片と硬さC₂の岩片と呈す。 前者は、割れ目により20%破砕傾向。</p> <p>60.99~61.38m: C₄ 硬質。割れ目の粘土化岩片と呈す。</p> <p>61.38~62.61m: C₁ 上層部の61.38~61.42m(10)と62.62m以下は、割れ目 により風化・変質の粘土化岩片と呈す。90%以上は硬質 割れ目の粘土化岩片と呈す。</p> <p>62.62~63.61m: C₁ 62.62~63.61m 岩片は硬質(硬さB₁)。割れ目により 10~10%程度粘土化岩片と呈す。粘土化部は粘土化 傾向を示す。</p> <p>63.61~64.00m: D 割れ目により硬質の粘土化岩片。9~10%程度硬質C₂ 岩片と呈す。(砂状)と呈す。 一部は割れ目の粘土化岩片と呈す。 63.90~63.94m(10)は60%以上3%石英粒の岩片と呈す。</p> <p>64.00~64.33m: C₂ 64.00と70°割れ目により連続L₁変質部は9~10%程度 1:100程度粘土化岩片と呈す。</p> <p>64.33~64.07m: C₁ 割れ目により割れ目により粘土化岩片と呈す。</p>
	61	60.99			c	✓	δ	3	0.80	C ₂ ✓	
	05	61.38			c	✓	δ	3		C ₄ ✓	
	62	62.61			b	✓	δ	2	1.30	C ₁ ✓	
	05	62.61			b	✓	δ	2		C ₁ ✓	
	63	63.61			c	✓	δ	3	1.00	C ₁ ✓	
	05	63.61			c	✓	δ	3		C ₁ ✓	
	64	64.00			c	✓	δ	2	1.00	C ₂ ✓	
	05	64.33			c	✓	δ	2		C ₁ ✓	
	65	64.07			c	✓	δ	2	1.60	C ₁ ✓	

Gp

ASFR 7/3
1:100
V
標

調査名

孔番・深度

H27 B- / (65 ~ 70)

観察日

1/28/9 29

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 65 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
05	65.52		Gp	2.5YR 7/3 R2.0 撓	✓ C	✓ IV	✓ B		2	10	CM	<p>65.22~65.30 は 40°×70°割れ目 0°交差。幅 10~20% と 10°の砂状部が 10% (20%)。砂状部が 10%。65.30 P 微細な黄鉄鉱。セメント状。2.0。</p> <p>65.70。φ20% と 10° 角石炭部 0° 出た。</p> <p>66.07~66.62 m: CL 同化の 10% 割れ目と 10% 密度の 10% 割れ目 0°。10% の 割れ目 0° 割れ目 0°。</p> <p>66.62~67.14 m: D 9~20% 黄鉄鉱と 10% の 10° 砂状部 0°。砂状部 10% 出た。</p> <p>66.65 m 以下は 10% 角石炭部 0° 割れ目 0°。10% の 割れ目 0° 10° 角石炭部 0° 出た。</p> <p>67.14~67.27 m: CL 50° 割れ目 0° 10° 角石炭部 0° 出た。</p> <p>67.27~67.40 m: CM 割れ目 0° 10° 角石炭部 0° 出た。</p> <p>67.40~67.47 m 10% φ 5~10% 10° 角石炭部 0° 出た。</p> <p>67.40~67.93 m: D 50~60° 割れ目 0° 10° 角石炭部 0°。10% 黄鉄鉱と 10% 角石炭部 0° 67.93~68.15 m: CL 40° 割れ目 0° 10° 角石炭部 0° 出た。</p> <p>68.15~68.60 m: CM 割れ目 0° 10° 角石炭部 0° 出た。</p> <p>68.43~68.49 m。φ 5~20% 10° 角石炭部 0° 出た。 P 割れ目 0° 10° 角石炭部 0° 出た。</p> <p>68.60~69.05: D 10% 角石炭部 0° 10° 角石炭部 0° 出た。10% 角石炭部 0° 10% 角石炭部 0°。</p> <p>69.05~69.56 m: CL 30~50° 割れ目 0°。10% 角石炭部 0° 出た。 割れ目 0° 10° 角石炭部 0° 出た。 69.07 厚 2~3% 20% 角石炭部 0° 出た。</p> <p>69.56~69.70 m: D 少量の 10% 角石炭部 0° 出た。</p> <p>69.70~69.73 m: 破砕岩 (主に断面 69.70 m)</p> <p>69.70 m: 4c-1 50° 割れ目 0° 10° 角石炭部 0° 出た。破砕岩。10% 角石炭部 0° 10% 角石炭部 0°。色調は 10% 角石炭部 (10YR 7/3) 厚 1/4 m。</p>
66	66.07 66.15			2.5YR 6/4 R2.0 撓	✓ C	✓ V	✓ C	✓ δ	3	10	CL	
05	66.62				✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	9	D	
	66.85				✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	9	CL	
67	67.14 67.27				✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	9	CL	
05	67.40				✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	9	CM	
	67.90 67.93			2.5YR 7/3 R2.0 撓	✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	9	D	
68	68.15 68.15				✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	9	CL	
05	68.60				✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	9	CM	
69	69.05				✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	12	D	
05	69.56			✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	12	CL		
	69.70 69.73			✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	12	D		
70	70.00			✓ C	✓ V	✓ E	✓ δ	3	12	CL		

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 70 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの種類	風化			
	70.42		Gp	2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ D	✓ δ			<p>69.90 ~ 69.93 m: HJ</p> <p>上端 45° 下端 57° の割れ目 斜交的に連続。φ 3~10% 硬さ E (軟化)。D の各片は 互片間の一部は粘化部。</p> <p>全片は「粘化部」を呈し。色調は灰褐色 (2.5Y 7/3)。厚さ 1%。</p> <p>69.93 ~ 70.10 m: CL</p> <p>硬さ「E」と硬さ「C」の互いの交互に出現部。</p> <p>硬さ「E」では割れ目に砂岩の挟在物も分布するが、硬さ「C」互いの挟在物はほとんど合弁せず。</p> <p>70.06 ~ 70.09 m: 45° 割れ目に 風化と砂化部。</p> <p>70.43 ~ 70.27 m: 硬さ「C」のみ。70.49 ~ 70.59 m: 硬さ「E」の白濁化部も分布する。70.59 m 以下は硬さ「E」のみ。</p> <p>70.27 ~ 70.60 m: 45~60° 傾きの 1% 以下の軟弱な白色粘化部中に分布部。一部は灰化と粘化部。</p> <p>70.39 ~ 70.40 m: φ 10% 前後の大型の石英結晶の存在。粘化部「E」と互いの硬質化部。</p> <p>70.80 m: 0~10° 傾きの 1% 石英部が密着して連続。</p> <p>72.10 ~ 72.74 m: 硬さ「C」互いの傾きの 割れ目挟在物はほとんど合弁せず。互いの一部は白濁化部。</p> <p>72.74 ~ 74.10 m: 硬さ「E」互いの傾きの 硬さ「C」の各片も合弁せず。</p> <p>割れ目には 風化、砂化部も認められる。</p> <p>73.35 ~ 73.38 m: 厚さ 2~3mm/m 程度の砂化部と互いの粘化部が残留する。</p> <p>73.65 ~ 73.76 m: 30° と 60° の割れ目の交差部 φ 10~30% の粘化部を呈す。</p>
0.5	70.85			2.5YR 4/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	✓ γ		10	10
0.5	71.27								3		
0.5	72.10			2.5YR 7/3 灰褐色	✓ c	✓ IV	✓ D	✓ δ		0	9
0.5	72.74			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ C	✓ γ		0	6
0.5	74.10										
0.5	74.36										
0.5	74.40			10YR 7/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E	✓ 4			
0.5	74.41										
0.5	74.50			7.5YR 6/2 灰褐色	✓ c	✓ V	✓ E	✓ ε	3		
0.5	74.91										
0.5	74.98										
0.5	75.00										

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

掘尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
05	75.57			75.5R 1/2 灰褐色	✓	✓	✓	3				
0	75.71 75.73 75.93			75.71 54R 5/2 灰褐色	✓	✓	✓	4	4	0	3	
26	76.00			75.93	×	×	×					
05	76.91			75.9R 1/2 灰褐色	✓	✓	✓	3				
77	77.19				✓	✓	✓	3				
05	78.19				✓	✓	✓	3				
78	78.43			78.4R 1/2 灰褐色	×	×	×					
05	78.72				✓	✓	✓	3				
	78.87			10R 9/2 10mm厚板	✓	✓	✓	3				
79	79.27			78.8R 1/2 灰褐色	✓	✓	✓	3				
05	79.69				✓	✓	✓	3				
	79.93			78.8R 1/2 10mm厚板	✓	✓	✓	3				
80	79.93			78.8R 1/2	✓	✓	✓	3				

75.47 ~ 75.50 m : Hb
 上端は湾曲して連続, 下端は0.50"以下に1層割れ目あり
 3層にアクリル塗布不明
 40~50%石英砂, 粘土質の砂質土(砂質土)と10~20%含む
 軟質の「砂質粘土」を呈し, 色調は10%変質土(10R 1/2), 厚さ
 2.5mm以上

75.50 ~ 75.57 m : D
 75.50 ~ 75.57 m 1層割れ目あり, 割れ目不明
 75.50 ~ 75.57 m 各層割れ目あり(10~20%)の割れ目あり
 75.57 ~ 76.00 m : 破砕帯 (主断面 75.73 m)

75.57 ~ 75.71 m : HJ
 上端は不明厚さの25°C, 下端は60°Cまで連続, 75~20%割
 り, 各層間には粘土質の「粘土質土」を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2), 厚さ10~12mm

75.71 ~ 75.73 m : Hc-2
 60°C: 上端は3層割れ目, 下端は連続的に連続, 75~30%石英
 砂と75%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2), 厚さ10~12mm

75.73 ~ 75.93 m : Hb
 上端は60°Cで連続, 下端は60°Cまで連続, 75~40%石英
 砂, 75~10%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ55%mm

75.93 ~ 76.00 m : HJ
 上端は60°Cまで連続, 下端は不明厚さ(30?)に連続
 75~10%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ60%以上

76.00 ~ 76.91 m : D
 76.00 ~ 76.91 m 75~20%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ60%以上

76.91 ~ 77.19 m : Cc
 76.91 ~ 77.19 m 75~20%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ60%以上

77.19 ~ 78.00 m : D
 77.19 ~ 78.00 m 75~20%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ60%以上

78.00 ~ 78.43 m : Cc
 78.00 ~ 78.43 m 75~20%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ60%以上

78.43 ~ 78.72 m : D
 78.43 ~ 78.72 m 75~20%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ60%以上

78.72 ~ 78.87 m : HJ
 78.72 ~ 78.87 m 75~20%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ60%以上

78.87 ~ 79.27 m : Hc-1
 78.87 ~ 79.27 m 75~20%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ60%以上

79.27 ~ 79.69 m : Cc
 79.27 ~ 79.69 m 75~20%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ60%以上

79.69 ~ 79.93 m : D
 79.69 ~ 79.93 m 75~20%の粘土質土(砂質土)を呈し, 色調は
 灰褐色(54R 5/2) ~ 灰褐色(54R 5/2), 厚さ60%以上

調査名		孔番・深度		H27 B-1 (P0 ~ P5)		観察日		H27 7/8 8/5, 8/19				
標尺 p0 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	0.5				✓	✓	✓	✓				P0.96 ~ P0.23 m 45°前後の割れ目が多い。 25°の割れ目は粘結材が充填し厚さ0.5 ~ 3%程度あり。
	0.5	P0.66			X							P0.30 ~ P0.40 m 割れ目により砂状化が進行。 P0.30 ~ P0.35 m は70°前後の割れ目時に発生した角状破片あり。
	0.5								✓	✓		P0.66 ~ P1.07 m 硬さD1から硬さC1のP2.50m前後の断片が分布。 P0.90前後の高角度割れ目が多い。
	0.5											P1.17 m 55°割れ目の厚さ10 ~ 15%の砂状粘結材は20° 境界物中の割れ目周辺にP0.5%以下の微細な黄鉄鉱を伴う。
	0.5											P1.22 ~ P1.27 m 161は交代の砂状破片あり。
	0.5	P1.87			X	X	X	3	✓	✓		P1.87 ~ P2.51 m 割れ目には砂状化の粗部も含まれる。
	0.5	P2.51										
	0.5	P2.62										
	0.5	P2.94							✓	✓		P2.51 ~ P2.62 m : D R12の砂状化がP0.5 ~ 1cmのGp断片の集積に分布する。
	0.5											P2.62 ~ P2.94 m : C2 割れ目には砂状化が進行。一部25°前後の粘結材が分布。
	0.5											P2.94 ~ P4.09 m : CM 粘結材中の最厚層の低角度割れ目と多量に合入している。 割れ目の充填物は少ない。
	0.5											P3.30 ~ P3.47 m 表面の一部が白濁している。
	0.5											P4.09 ~ P4.09 m 25°前後の割れ目と10°前後の砂状化が進行。 厚さ1 ~ 10%の厚さ3%程度の浸透性粘結材と20%程度を伴う。
	0.5	P4.09							20	10		P4.09 ~ P4.92 m : CH 60 ~ 80°の高角度の「粘結材」を伴った最厚層は厚さ1.5 ~ 2.0の 打撃で容易に砕ける。
	0.5											P4.50 m 36°割れ目の厚さ2 ~ 3%の粘結材を伴う。
	0.5											P4.82 ~ P4.92 m 割れ目交差部で一部粘結材。粘結材の浸透 による粘結材は伴わない。
	0.5	P4.92							47	16		P4.92 ~ P5.38 m : C2
	0.5	P5.00										

調査名		孔番・深度		観察日		基盤岩コア観察カード						
		H27B-(90~95)		4/27 7/16		記事・破砕性状・詳細スケッチ等						
標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
05												
91				2.5YR 7/2 灰緑					0.7			
05			Gp		✓	✓	✓	✓	3	CL	91.16~91.25m: 傾角と高角割れ目の交差に、径10%前後の粗砂粒は認められず。下部は2mm以下条件。	
92	92.00								0.6			
05				2.5YR 7/2 明緑灰							92.32m: 50°割れ目と径0.5mm前後の雲母(白針状?)を認められず。	
93									0.4			
05	93.53				X	X	✓	✓		D	93.53~94.02m: D 割れ目と径0.5mm前後の粗大(一部は砂粒)を認めず。	
94	94.00 94.07	65°			X	X					94.00~95.05m: CL 94.07~94.08m: 上下端65°を貫入する割れ目。上下端は割れ目。破砕や変質帯は認められず。貫入面(65°)は60°傾角の直交する割れ目と交差する。一部は流理構造(55~60°)を認め、直上と直下のGpに破砕や変質は認められず。	
05			7.5Y 4/1 暗緑灰		✓	✓	✓	✓	3	CL		
95	94.80	65°		2.5YR 7/2 明緑灰								

標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	05			7.5YR 7/2 明褐	✓	✓	✓	δ	3		C _L ✓	・95.22 ~ 95.25m 割れ目に砂状物、若干の碎片。 ・95.30 ~ 95.45m 緑色砂岩	
	95.85				X					0	6	95.85 ~ 96.50m CM 硬質の砂岩、亀裂の多い割れ目が多く、一部で 粗粒化あり。 ・96.00 ~ 96.10m 割れ目から10~20%の砂岩、圧縮性脆 質砂岩。	
	96	96.10			✓	IV	✓	B			CM✓		
	05	96.58	Gp ✓	7.5YR 5/2 灰褐	X							96.50 ~ 97.57m C _L 一部は砂岩、砂岩質部が混入。 ・97.20 ~ 97.30m 暗緑色の砂岩(緑泥岩?) の混入一見あり。	
	97				✓	✓	✓	C		10	10	C _L ✓	・97.00 ~ 97.12m 割れ目に砂状物、全体は脆く、
	05	97.57		7.5YR 7/3 灰褐	X	X	✓	E	ε	4		D✓	97.57 ~ 97.88m: D 硬質の砂岩、砂岩質部が混入、全体は脆く、上部は 下部は97.88mに40%程度、5%程度の砂岩質部が混入
	98	97.88		7.5YR 5/2 灰褐	X	X	✓	E	ε	4		D✓	97.88 ~ 100.57m: CM 硬質の砂岩、変質が弱く、 亀裂の多い割れ目や節理割れ目が多く、10cm以上 の割れ目や2~3cmの割れ目。 割れ目には砂状物や粘土質の混入。
	05				✓	IV	✓	B	γ	2		CM✓	
	99									20	13		・99.03m 35割れ目に微細な黄鉄鉱の混入(2-3)。
	05	99.57		7.5YR 6/1 褐									
160										12	12		

100.57m 20 100.57m 12

調査名		孔番・深度		観察日		基盤岩コア観察カード							
		H27 B-1 (100 ~ 105)		11/7 7/6		記事・破砕性状・詳細スケッチ等							
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD
0.5	100.51 100.56			2.5YR 6/1 褐灰	✓ c	✓ IV	✓ B	✓ Y	✓ 2			CM ✓	100.00 ~ 100.51 m 中層割目・老層度の低い割目が多く、細粒化が多い。
	100.72				X	✓ c	✓ C	✓ B	✓ 2			CC ✓	100.51 ~ 100.72 m : CL 風化の下部割目は細粒化。マクロ・鉱物も受け。
10.1	100.72									✓ 0	✓ b		100.72 ~ 102.35 m : CM 割目層の浸透性物は殆んど認められず。 一部で中層割目・老層度の低い割目も認められ、 下部の浸透性も細粒化が多い。
0.5			Gp ✓	2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ IV	✓ B					CM ✓	101.57 ~ 101.58 m と 102.00 ~ 102.05 m 間は割目 層に片断・塊状に存在し、粘土・細粒部は分布 不均。 全体は 1-3% の暗緑色鉱物 (緑泥石?) の点状存在。
10.2	102.35				X	X	Y	2		✓ b	✓ 5		102.05 ~ 102.35 m 間は割目層の老層度の低い 割目層の中層割目が多い。 102.05 ~
0.5													102.35 ~ 107.40 m : CH 下部に浸透性割目も認められ、 一部は浸透性割目による浸透性化 (即ち粘結層と認められる) 全体では浸透性物は殆んど含まない。 1-3% の暗緑色鉱物 (緑泥石?) の点状存在。
10.3										2 ✓ 15	✓ 15		
0.5					✓ b	✓ III	B					CH ✓	102.52 ~ 103.59 m 間は、割目層に浸透性化が認められる。
10.4										3 ✓ 14	✓ 14		
0.5													
10.5										3 ✓ 14	✓ 14		

調査名		孔番・深度		H27 B-1 (105 ~ 110)		観察日		H27 7/16						
標尺 0.5 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					ROD
	0.5													105.23 ~ 105.25m: 65° 割れ目幅 1~3% の緑色粘土 1226. 破碎は中等程度。
	106									23	13			106.33m: 60° 割れ目幅 5% の細粒化砂。 粘土は中等程度。
	0.5													
	107									26	14			
	0.5													107.40 ~ 107.83m: CM 107.52 ~ 107.55m: 幅 40° 55° 割れ目に同様に細粒化砂 粘土は中等程度。
	108													107.83 ~ 108.24m: CL 風化は割れ目には顕微鏡まで。 108.20m: 50° 割れ目 40° 割れ目 10mm 程度まで
	0.5													108.24 ~ 109.98m: CM 深部(砂)の中層割れ目中急激な低割れ目号 ハースの位置で細粒化砂。 割れ目には炭化物の付着が分布(砂)。
	109													109.00 ~ 109.14m と 109.41 ~ 109.60m 167は割れ目 が著し。長 10~30% 程度の硬質岩片(砂)。
	0.5													
	110													

調査名			孔番・深度		観察日						
			H27 B-1 (110 ~ 115)		H27 11月 9, 19, 21						
深尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
0.5	110.43			2.5YR 5/1 褐灰	✓ b	III	B				107.98~110.43 m: CH 4割程度が密着度の低い割れ目を含む。稀にコアの入り子。
	110.68 110.74				✓ c	V	C				
1.1	110.73		Gp	1.5YR 4/1 暗緑灰	✓ b	IV	B		33	20	110.74~112.03 m: CM 30~60°と斜交の割れ目が50~70°割れ目の部 割れ目交差部一部で完全な砂状化。"岩化"は伴わない。 (112.04 m以下は) 堅硬で割れ目状の物は殆ど分布しない。
	111.37				✓ b	IV	B				
0.5	111.54			5YR 8/2 灰褐色	✓ b	IV	B				112.04 m: 灰褐色。主として、一部の割れ目には 泥化の薄層状の付着。粘土化の粘着性分布。可成り 全体に20%程度の砂状化を認め、割れ目面には薄く 黒褐色化。
	112.00 112.04				✓ b	IV	C			20	
1.1	112.04		Gp	5YR 7/3 明褐色	✓ b	IV	C				112.04 m: 灰褐色。主として、一部の割れ目には 泥化の薄層状の付着。粘土化の粘着性分布。可成り 全体に20%程度の砂状化を認め、割れ目面には薄く 黒褐色化。
	112.07				✓ b	IV	C				
0.5	112.31			2.5YR 7/4 明褐色	✓ c	V	D		3		112.03~112.31 m: 暗褐色化。暗褐色の割れ目と 分布。
	113.51 113.60				✓ d	VI	E		4		
1.4	113.60		Gp	2.5YR 6/2 灰褐色	✓ d	VI	E		4		112.31~113.51 m: CL 割れ目は砂状化の進入が多量。 113.51~113.60 m: HJ 上部50%、下部66%の割れ目が連続。45~10°の25~30° の割れ目。各層間の砂状化の砂化。粘土混入の粘着性。呈出。 色調は灰褐色(2.5YR 6/2)。厚さ20~25 cm。
	114.00				✓ d	VI	E		3		
0.5	113.51			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ d	VI	E		4		113.60~114.00 m: HJ 上部50%、下部66%の割れ目が連続。途中は厚さ1%粘土の付着。 114.00~114.75 m: CL 高角と低角の割れ目の交互。粘土の30%以下に砂状化。 割れ目の一部は砂状化の入り子。
	113.56				✓ d	VI	E		3		
1.5	114.75			2.5YR 7/2 明褐色	✓ c	V	C		2		114.75~115.52 m: D 風化が最大で砂状化。破砕性も呈出。
	115				✓ d	VI	E		3		

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 B-1 (115 ~ 120)		H27 7.6 8.5 9.20 9.29								
標尺 115 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05	115.52											115.28 m 以下深部は割れ目の一部を残留した。
116												115.52 ~ 118.26 : C2 50~70°の高角割れ目と30°前後の低角度割れ目との交差部 割れ目の多量な砂状化が認められ粘土は分布しない。
05	116.87		2.5YR 7/2 明褐灰									
117			Gp									116.87 ~ 118.26 m : 割れ目による砂状化は認められず、 粘土は10~30%程度認められる。 116.87 ~ 117.00 m は10%前後の砕石が認められ、 割れ目による砂状化部分も認められる。 割れ目は50~70°と20°の交差部が40°前後あり、 交差部には5%前後の粘土が認められる。 116.20 割れ目は40°割れ目と交差部がある。
05	118.28		2.5YR 4/3 灰褐色									118.10 ~ 118.63 m : 割れ目の一部は軽微な砂状化 が認められる。 116.26 m 以下深部は上層より更に割れ目の砂状化 が認められる。 一部は厚1~2%の粘土が認められる。
118												118.63 ~ 118.94 m : D 砂状化が認められ、粘土の砂状化は認められず、 粘土の分布は認められる。
119			10YR 5/4 灰黄褐色									●118.94 ~ 119.12 m : 粘土帯 (当該断面119.10 m) 118.94 ~ 119.10 m : HJ 上部より下部60°の割れ目と連続的に認められ、当該断面は平均 割れ目は20°前後の割れ目と5%前後の粘土が認められる。 粘土は粘土帯の一部に砂状化は認められず粘土は認められず。 色調は浅黄(10YR 5/4)、厚1~2%程度。 119.10 ~ 119.12 m : Hc-2 50°前後の粘土帯は、下部より粘土と連続的に認められ、粘土は 粘土帯の一部に砂状化は認められず粘土は認められず。 色調は浅黄(10YR 5/4)、厚1~2%程度。 粘土帯は、粘土帯の一部に砂状化は認められず粘土は認められず。 粘土帯は、粘土帯の一部に砂状化は認められず粘土は認められず。
05	119.30		2.5YR 7/2 灰褐色									119.12 ~ 119.30 m : CL 50~70°の高角割れ目と20°前後の低角度割れ目との交差部 割れ目の多量な砂状化が認められ粘土は分布しない。
120	120.00											

調査名

孔番・深度 427 B-1 (120 ~ 125)

観察日

H27
7/18 7:00

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 120 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
0.5	120.78				V b	IV	B				CMV
121					X	X			25	5	
0.5					b	III	B				CHV
122	122.00		Gp	スズク % 下層	X	X	B		34	24	
0.5					B	IV	B		0	5	CMV
123											
0.5											
124	124.76			スズク % 粗灰					0	0	
0.5											
125									0	0	

119.30~120.78 m: CM
一部で露度の低い割目や中層割目が多い。120-
の計数で合意、細化等が、割目の面は新鮮で
未風化。

120.78 ~ 122.00 m: CH
130~140^μ間の中層割目と約10%間隔で分布。

122.00 ~ 125.06 m: CM
一部で露度の低い割目や中層割目が多い。
20^μ間隔割目代りが多い。
割目の面は10^μ新鮮で未風化。

123.38 m 割目交差部で幅 2~3% 細化等が
同化部分で粗化等は付かない。

124.76 m 割目面は厚さ% 単結晶緑色粘土が多少
に付着。

125.06

調査名

孔番・深度

H27 B-1 (125 ~ 130)

観察日

4/18/20

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 125 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
125	125.00		gp	25YR 6/1 褐灰	IV	B	β	2	0	8	CMV	125.06 ~ 125.28 m : CL 上部割目面は約3分程度・細粒化(200)の粘結土は約2分。 125.28 ~ 127.68 m : CM 開口割目面と平行方向の上部割目面は密着度の低い割目面 と合入した。127.68m以下は粘結土一部は高強度・細 粒化可能。 127.68 ~ 127.25m (16) の2層は高強度・細 粒化以外は粘結土・細粒化。
	125.28				b ₁	B	β	2	0	8	CLV	
126	127.16		gp	25YR 6/1 褐灰	b ₁	B	β	2	10	10	CMV	127.16 ~ 127.25m 間は約10%前後の角砕化 した。下部の450割目面は約10%前後の 粘結土・細粒化・角砕化・浸透色化等。
	127.68				b ₁	B	β	2	0	9	CLV	
127	128.08		gp	25YR 6/1 褐灰	b ₁	B	β	2	0	9	CLV	127.68 ~ 128.08 m : CL 厚さ5~10%程度の片状の碎屑で粘結物は下部 の128.05~128.08mで約3~5%程度粘結土を含む「硬質砂」 状と見られる。粘結土は約2分。 128.08 ~ 128.64 m : CM 上部割目面は約2%程度角砕化。上部割目面は約10%前後の 粘結土・浸透色化は認められる。
	128.08				b ₁	B	β	2	0	9	CLV	
128	128.35		gp	10YR 7/2 灰褐色	b ₁	B	β	2	0	8	CMV	128.64 ~ 128.88 m : CL 約10%前後の角砕化・粘結土は約2分。上部割目面は約20% 前後の粘結土・浸透色化・角砕化・角砕化・角砕化等。
	128.64				b ₁	B	β	2	0	8	CLV	
129	128.88		gp	25YR 6/1 褐灰	b ₁	B	β	2	0	8	CMV	128.88 ~ 129.91 m : CM 約20%前後の角砕化・粘結土は約3~4%程度。上部割目面は約10% 前後の粘結土・浸透色化等。粘結土は約2分。 129.91 ~ 131.93 m : CL
	129.00				b ₁	B	β	2	0	8	CMV	
130	129.91		gp	25YR 6/1 褐灰	b ₁	B	β	2	0	8	CMV	129.91 ~ 131.93 m : CL

調査名

孔番・深度

N27 B-1 (130 ~ 135)

観察日

11/27/07

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 130 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	05										
	131		Gp	25R % 褐灰	b	III	B		26	16	CHV
	05										
	131.93				*	*	B	2	53	28	
	132										
	05										
	133				b	IV	B1		11	11	CMV
	05										
	134								8	7	
	05										
	135								0	9	

一部のコアは中層割れ目と基層割れ目とを含む。132-01区
打込み量(割れ目)と時々にして人為的現象(掘進)の
打込み量(割れ目)と時々にして人為的現象(掘進)の

131.40 ~ 131.52 m 間は 20 ~ 30% 角砕化 (200 μ -
200 μ 以下) と時々にして人為的現象(掘進)の

131.93 ~ 132.07 : CM
中層割れ目と基層割れ目の間に多く含まれる。既に
割れ目(200 μ 以下)が多い。
割れ目の一部は風化(薄)の状態で132m 以下にあり、
採集物(5号)の割れ目の主成分。

132.07 ~ 132.24 m 間は 10 ~ 20% 角砕化(200 μ 以下)と割れ目
の20% 以下を占める。微細な角砕化(200 μ 以下)の
間隙に充填されている。

133.40 ~ 134.00 m 間は 中層(25R)割れ目と基層割れ目との間に
(1) 中 10% 前後の細く砕けた。

133.82 m. 60 割れ目と 20% 以下 3 ~ 5 μ の細片砕化
(200 μ 以下) 風化に起因する砕けは 133.82 m 以下。

調査名		孔番・深度		観察日							
		H27 B-1 (135~140)		H27 7/8, 9/20, 9/29							
標尺 135 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
135	0.5										
136	0.5										135.80~136.00m 中割れ目(粗)あり、長さ10~30%程度に細砕化(粗)。
137	0.5		Gp	2.5YR 6/1 褐色							137.00~138.07m 中割れ目(多)あり、密着度(高)く、 ハ2-12層状の分離(粗)。また、向(割)れ目(粗)あり 約3% 暗緑色の緑泥石の斑点状に点在する
138	0.5										
138	0.07										138.07~138.44m : CH 密着度の低い中割れ目(多)あり、全体(粗)に「C」で示す。 長さの短縮化(割)れ目(粗)物はほとんど認められず。 約3% 暗緑色の緑泥石の斑点あり。
138	0.44										
138	0.80										138.44~138.80m : CH 暗緑、塊状、中割れ目(多)あり、密着度(高)く、ハ2-12層状の 分離(粗)。
139	0.5										
139	0.82										138.80~139.82m : CL 139.10m 以上(薄)に「C」で示す、以下は軟化(薄)に「D」で示す。 全体(粗)に割れ目(粗)物はほとんど認められず。 139.93m 60~70% 厚さ(薄)に石英派の 密着(粗)に割れ目(粗)に連続。 139.95m 30~40% 厚さ(薄)に割れ目(粗)に連続(粗)に 連続する。軟化(薄)に認められず。 139.10m 以上(薄)に「D」に連続(粗)に連続。 139.31m 以上(薄)に厚さ(薄)に約2~3% 厚さ(薄)に緑泥石の 斑点あり。
139	0.88										
139	0.95										
140											139.82~139.88m 緑泥石(薄)に断面(139.82m) 139.88m : HC-1

調査名		孔番・深度		H27 B-1 (140 ~ 144)		観察日		147 7/20				
標尺 (40 m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
141	140.03		Gp	2.5YR 7/1 褐灰	✓	✓	✓	Y	2	10	10	52cm 連続的に連続。角路砂岩は石英粘、粘片を含む 粘片粘土(砂岩)を帯は暗緑灰(59.3%)~灰褐色(7.5%粘灰) 厚2.05~1.4m 139.02~139.08m: HJ 52cm 上下端は連続的に連続。中3~5μm の細粒 粘片化。粘片は均一的な形状(粗粒粘片)。粘片の多くは 至て北西方向に配列している。粘片は「粘片粘土粘片状」 に呈出。色調は暗緑灰(19.3%)。厚4.0m 139.08~139.95m: D 至て北西方向に配列している粘片の多。粘片は暗緑灰 139.95~140.03m: Cc 粘片粘土、粘片粘土 140.03~141.27m: CM 粘片粘土の粘片の多。粘片は10cm以下の細粒粘片の粘片 粘片粘土は分布している。 141.27~142.31m: Cc 粘片粘土の粘片の多。粘片は10cm以下の細粒粘片の粘片 粘片粘土は分布している。 141.55m 以下深は粘片粘土の粘片の多。粘片は10cm以下の細粒粘片の粘片 粘片粘土は分布している。 142.31~144.00m: CM 粘片粘土の粘片の多。粘片は10cm以下の細粒粘片の粘片 粘片粘土は分布している。 143.93m 以下深は粘片粘土の粘片の多。粘片は10cm以下の細粒粘片の粘片 粘片粘土は分布している。
	141.27	141.55			✓	✓	✓	Y	2	10	10	
142	141.27		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓	Y	2	10	10	142.31~144.00m: CM 粘片粘土の粘片の多。粘片は10cm以下の細粒粘片の粘片 粘片粘土は分布している。 143.93m 以下深は粘片粘土の粘片の多。粘片は10cm以下の細粒粘片の粘片 粘片粘土は分布している。
	142.31				✓	✓	✓	Y	2	10	10	
143	141.55		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓	Y	2	10	10	143.93m 以下深は粘片粘土の粘片の多。粘片は10cm以下の細粒粘片の粘片 粘片粘土は分布している。
	142.31				✓	✓	✓	Y	2	10	10	
144	142.31		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓	Y	2	10	10	(粘片)
	143.93				✓	✓	✓	Y	2	10	10	
144	144.00		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓	Y	2	10	10	(粘片)

H27-B-2

第四系コア観察カード

調査名		孔番	観察日				
		H27B-2	6/23				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
0				火山灰物 山質礫石 火成土貝木			
	0.70m				コンクリート		
	1.00m				砂利	10YR 4/2 灰黄符	粗粒 1.00 ~ 2.00m 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は良い
	2.00m				盛土		粗粒 2.00 ~ 3.40m 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は普通 ・10 ~ 50mmの礫で複数含ま
	3.00m						
	3.40						粗粒 3.40 ~ 4.00m 径0.05 ~ 2.0mmの中粒砂~ 極粗粉砂主体の盛土 ・淘汰は良い
	4.00m						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

[Redacted]

調査名		孔番	観察日			
		H27 B-2	6/23			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ マーカー 火山灰物 山質燻化石 炭土貝片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
4.00	4.10			盛土	10YR 6/4 15YR 黄橙	
5.00				盛土		
6.00						
7.00	7.00		板の破片		2.5YR 5/4 10YR 黄	
8.00						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		427 B-2					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ-	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				○ r /// 0 □			
8.00							
	8.50			7.5YR 5/4 15.5" 11 褐			
				7.5YR 6/1 灰褐			
9.00	9.00			7.5YR 4/1 褐灰			
10.00							
	10.50			10YR 7/6 明膜褐			
11.00	11.00			10YR 6/6 明膜褐			
	11.50						
				10YR 6/8 明膜褐			
12.00	12.00						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ○ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番	観察日				
		H27-B-2	6/23				
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ ○ r /// ○ □ △ ▽ ◇ ◇	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	12.33m				土	10YR t/6 黄褐	12.33~12.75m 礫率70~80%でクサリ礫を多し含む。 礫種はGpと一部Apで礫径は2~100mmで一部最大径200mmの礫が認められる。 ・亜角礫が主体。 ・12.68~12.80m 付近にマ・カン濃集部が認められる。
	12.75m				砂礫	10YR 4/4 褐	
13.00m	13.00m				礫混じり砂	10YR 5/1 褐	
	13.53m				砂	2.5YR 6/4 黄	12.75~13.00m 礫率5~10%でクサリ礫を多し含む。 礫種はGpで礫径は2~10mm。 ・亜角礫が主体
	14.00m						着岩
	15.00m						
	16.00m						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	<h2 style="text-align: center;">基盤岩コア観察カード</h2> <p style="text-align: center;">記事・破碎性状・詳細スケッチ等</p>
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				

11.00m																
12.00m																
13.00m																
	13.53m			7.5YR 7/3 R3.5 橙						3						<p>「中四角印教率」参照</p> <p>↑ 青色</p> <p>13.53 ~ 14.00m: CL</p> <p>2度20° 3度10° 4度30° 割れ目 5度 6度 7度 8度 9度 10度 11度 12度 13度 14度 15度 16度 17度 18度 19度 20度 21度 22度 23度 24度 25度 26度 27度 28度 29度 30度 31度 32度 33度 34度 35度 36度 37度 38度 39度 40度 41度 42度 43度 44度 45度 46度 47度 48度 49度 50度 51度 52度 53度 54度 55度 56度 57度 58度 59度 60度 61度 62度 63度 64度 65度 66度 67度 68度 69度 70度 71度 72度 73度 74度 75度 76度 77度 78度 79度 80度 81度 82度 83度 84度 85度 86度 87度 88度 89度 90度 91度 92度 93度 94度 95度 96度 97度 98度 99度 100度</p> <p>14.91m 付近 幅4mで傾斜15°の石英脈が認め 5本見。</p> <p>詳細</p>
14.00m	14.00		GP	10YR 7/3 R3.5 黄橙						3						<p>14.55 ~ 14.68m 割れ目沿いにマンガンの濃集部 が認められました。一部(14.55 ~ 14.63m) で土砂化が生じています。</p>
0.5	14.89m									3						<p>14.89 ~ 15.00m スライムのため判別不可</p>
15.00																

調査名		孔番・深度		H27 B-2 (20 ~ 25)		観察日		#27 7/20					
標尺 20 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<h3>基盤岩コア観察カード</h3> <p>記号・破碎性状・詳細スケッチ等</p>	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
	0.5												
	21					IV	D	S	3	12	12		20.90m 割れ目径約10mm 砂状化。
	0.5												21.90m 約10%石英 0.80割れ目(sj) c-605h (h27.10/m)
	21.79					*	*					CL	21.79 ~ 21.82m 硬さ「c」の区間で50%程度「D」も含まれ両者の交互に出現する。割れ目径に風化砂状化の部分が多い。
	22		Gp	2+YR 7/2 明褐色						0	8		22.18 ~ 22.149m 硬さ「B」の硬質
	0.5												
	23					C ₁	IV	C	γ	3	23	23	
	0.5												23.52 ~ 23.50m と 23.82 ~ 20m の割れ目径厚さ10mm 円筒状の灰褐色粘土脈の存在。
	24									27	15		
	0.5												
	25									0	7		

調査名		孔番・深度		観察日								
		427 B-2 (25 ~ 30)		4/27 7/20								
標尺 2.5 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	25											25.31m 20°割れ目には 10.5% ~ 1% の微細な雲 ⇒ (セリナ?) の混入 (2m)
	26								11	11		25.84m 24°の割れ目(SJ)は交差角 5~10°割れ目 と同様の (右2L、左1L) (3%)
	27	26.82	Gp	スFR 1/2 明揚灰					0	7	C2	26.82m 以降は硬く「D」が主体と判る。
	28	28.02							0	9		27.15m 65°割れ目には 2~3% 軟質深黄~灰白の 粘土層あり。
	29								0	3		28.91m 20°幅 1% 石英脈の交差角 85°の割れ目(SJ) と右2V 1% の引込み角の割れ目(2m) (右2Lと 同様の)
	30	29.88								4		28.02m 以降 10% 10°程度の割れ目・発達し 層状に層状化 (2m)。 割れ目には 1% の砂化が 20% あり。
	30	30.00										29.88~30.02V/D 粘土層 10% (2F) 層あり

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 B-2 (40 ~ 45)		H27 7/20								
標尺 40 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
05	40.23		Gp	25R 1/2 明褐色	✓	✓	✓					39.20 ~ 40.23m : D 粘組織と割れ目残留。一部に割れ目と1層から10%の砂化。
	40.73			25R 3/4 明褐色	✗	✗						
41	41.37		Gp	25R 1/4 明褐色	✓	✓	✓	δ	3	✓	✓	41.70 ~ 41.91 (16) は 5-10% の砂化が認め 2m 以上 20-30% 程度に砂化が認められる。
	41.90			25R 3/4 明褐色	✓	✓	✓			✓	✓	
05	42.37		Gp	10R 1/4 明褐色	✓	✓	✓			✓	✓	43.09 ~ 43.30, 硬さ 20% 程度の粘組織の砂化 2m 以上 43.50 ~ 43.71m
	42.94			25R 1/2 明褐色	✗	✗				✓	✓	
44	43.94		Gp	25R 1/2 明褐色	✓	✓	✓			✓	✓	43.94 ~ 44.96m : CL 割れ目と1層程度の砂化が認められる。粘組織の砂化 一部に粘組織の砂化と硬さ 20-30% 程度に砂化が認められる。
	44.20			25R 3/4 明褐色	✓	✓	✓			✓	✓	
05	44.73		Gp	25R 1/2 明褐色	✓	✓	✓			✓	✓	44.73 ~ 45 割れ目と1層 20-25% は粘組織の砂化と 粘組織の砂化と硬さ 20-30% 程度に砂化が認められる。
45	45.23			25R 3/4 明褐色	✓	✓	✓			✓	✓	

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
45													
05				25YR 7/2 明楊灰	✓ c	✓ v	✓ D	δ	3				45.10~45.25 "硬2c" の硬質部が分布。
46	45.96				γ	x				0	3	C2	45.96~46.31 "硬1c" の硬質部。割れ目は厚さ1cm程度の片状の結晶。
05	46.31		Gp		x	x							
47	47.06				s	v	D	δ		0	5		46.74~46.85 "硬1c" の硬質部。硬質部は厚さ1cm程度の片状の結晶。硬質部は厚さ1cm程度の片状の結晶。
05	47.50		F	10YR 4/3 黄砂	✓ d	✓ v	✓ E	E	3			Dv	47.06~47.50 m : D 岩組織と割れ目は消滅した。 硬2c 主体の厚さ10%の細粒化した。
48	47.85			2.5YR 7/2 明楊灰	✓ c	✓ v	✓ D						47.50~47.80 m : CL 47.85m以下は硬2c 主体。47.85m以下は硬2c 主体。47.85m以下は硬2c 主体。47.85m以下は硬2c 主体。
05	48.52				ε	iv	c		2			CL	47.80~48.10m 上端30、下端20の割れ目は同様に連続した片状の結晶。 48.40~48.49m 上記同様に結晶の片状化を伴う。 48.49~48.88m 60%割れ目主体。割れ目は片状の結晶が分布する。(45割れ目付近に同様に連続)
49	48.88				δ	v	E		4	0	8	Dv	48.88~48.92m : 破碎帯(主として断面48.88m) 48.88m : Hc-2 48.88m : Hc-2 48.88m : Hc-2 48.88m : Hc-2
05	48.92			2.5YR 7/2 明楊灰	✓ c	✓ v	✓ c	δ	2			CL	48.88~48.92m : Hc-2 48.88m : Hc-2 48.88m : Hc-2 48.88m : Hc-2
50										14	14		48.92~52.42 m : CL 硬質部 厚さ5cm程度の結晶が分布する。

調査名

孔番・深度

H27B-2 (50 ~ 55)

観察日

H27
7/21

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 50 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
0.5				2.5YR 7/3 15%黄	✓ c	✓ IV	✓ c	δ	2				
5.1										✓ 10	✓ 10		
0.5	51.51				X		X					C _L ✓	
5.2			Gp	10YR 7/3 15%黄	✓ c	✓ V	✓ δ	δ	3	✓ 10	✓ 9		
0.5	52.42				X							CM ✓	
5.3					✓ c	✓ IV	✓ B	γ	2				
0.5	52.99				X					✓ 11	✓ 11		
5.3					✓ c	✓ V	✓ δ	δ				C _L ✓	
0.5	53.20				X							D ✓	
5.4				2.5YR 7/2 15%黄	✓ c	✓ IV	✓ D	δ	3				C _L ✓
0.5	54.10									✓ 0	✓ 4		
5.4				10YR 7/3 15%黄	✓ c	✓ VI	✓ E	ε					D ✓
0.5	54.60												
5.4				2.5YR 7/3 15%黄					δ	4			H _b H _c
0.5	54.72									✓ 0	✓ 4		
5.5													
0.5	54.77												
5.5													
0.5	55.00												

49.00 ~ 49.34 m: 割れ目なし。風化砂状化の進行。コアは一部に4mm程度の粒あり。外周は正常コアに属する。

49.34 ~ 51.15 m: 風化砂状化の進行。高層部(49.34 ~ 51.15 m)の付着が顕著。

51.15 ~ 51.50 m: 風化砂状化の進行。高層部(49.34 ~ 51.15 m)の付着が顕著。上下端は砂状化している。

51.50 ~ 51.51 m: 51.50 m 位置に砂状化の進行。高層部(49.34 ~ 51.15 m)の付着が顕著。

51.51 ~ 52.42 m: 51.51 m 位置に砂状化の進行。高層部(49.34 ~ 51.15 m)の付着が顕著。上下端は砂状化している。

52.42 ~ 52.99 m: 52.42 ~ 52.99 m = CM
割れ目深さ2mm程度。一部に容易に砕ける割れ目がある。割れ目径1mm ~ 3mm。砂状化が顕著。

52.99 ~ 53.20 m: C_L
割れ目なし。砂状化の進行。高層部(49.34 ~ 51.15 m)の付着が顕著。

53.20 ~ 53.55 m: D
高層部(49.34 ~ 51.15 m)の付着が顕著。割れ目は高層部(49.34 ~ 51.15 m)の付着が顕著。上下端は砂状化している。

53.55 ~ 54.10 m: C_L
一部に砂状化の進行。高層部(49.34 ~ 51.15 m)の付着が顕著。上下端は砂状化している。

54.10 ~ 54.72 m: D
風化砂状化の進行。高層部(49.34 ~ 51.15 m)の付着が顕著。上下端は砂状化している。

54.72 ~ 54.77 m: H_b
54.72 ~ 54.77 m: H_b
上端60°の傾斜。下端39°の傾斜の連続。4~4%の石英粒あり。

48
51
010
100

48
51
010
100

調査名

孔番・深度 H27 B-2 (56 ~ 60)

観察日

H27
7/21 甲

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 55 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
55	55.24			2.5YR 7/1 明褐色	✓d	✓VI	✓E	δ	4			DV
	55.77			2.5YR 7/2 明褐色								
56	56.29				✓c	✓V	✓D	δ	3			C2
	57.45		Gp	10YR 7/2 灰褐色								
57	57.70							δ	3			DV
	57.99											
58	58.28			2.5YR 6/3 灰褐色	✓b	✓IV	✓B					CM
	58.73											
59	59.21											
	59.35			2.5YR 7/2 灰褐色	✓b	✓IV	✓B					C2
60	60.00			2.5YR 7/2 灰褐色	✓d	✓VI	✓E	ε				DV

粘土化は 95~10% 程度で 30~50% 含む軟質粘土質粘板岩
 59.21 (深部) 粘板岩、呈砂、マーン鉱床の一部に砂
 59.21 明褐色 (5YR 7/2)、厚さ 40~50m
 ・59.77 m: He-1
 59.21 下層は連続的に連続、破砕、新片は粘土を含む
 (5%以下) 軟質粘土 (粘板岩)。色調は灰褐色 (2.5YR 5/2)、厚さ
 3m

59.77 ~ 59.24 m : D
 全体に粘土化
 59.00 m 以下は 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 59.00 m 以下は 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む

59.24 ~ 59.70 m : C2
 深部は 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む

59.70 ~ 59.99 m : D
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む

59.99 ~ 59.28 m : C2
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む

59.28 ~ 59.73 m : CM
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む

59.73 ~ 59.71 m : C2
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む

59.71 ~ 60.00 m : D
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む
 粘板岩 20% 程度に粘土化を含む

